

新旧寺院を訪ねる

▶ワット・ロンクン(ホワイト・テンプル)

チェンライ出身のアーティストであるチャレン・チャイ・コーンピバット氏が仏教や神話をモチーフにデザインした白亜の寺院です。壁面や数々のオブジェには、日本のアニメや有名な映画のキャラクターもあり、それらを見つめるのも楽しみの1つ。独特のアートセンスは、ワット・ロンアテン(ブルー・テンプル)にも引き継がれています。

入口のベンチに座り寺を守っているのは、仮面ライダー(Guardian Robot)のHoon Pitak (Guardian Robot)。運が良ければ、チャレン・チャイ・コーンピバット氏本人を見かけることも。



▶ワット・ロンアテン(ブルー・テンプル)

ワット・ロンクン(別名ホワイト・テンプル)をデザインしたコーンピバット氏の弟子であるスラーノック(ブッター・ガーブケオ)氏によって建築された仏教と神話をモチーフにした寺院です。一面に広がる数々の青い建築やオブジェにゴールドの装飾が施されメッセージ性のある世界観で人気が上昇中です。



洞窟の中で目を凝らしてみるとコウモリが!

▼ワット・ウモーン

市街からは少し離れたところにある神秘的な洞窟寺院。ウモーンとはタイ語で「トンネル」のこと。靴を脱いでトンネルを探索すれば3体の仏像に出会うことができます。また観光客も少ないのでゆっくり見ることが出来ます。



チェンマイ



▲ワット・プラタート・ドイ・ステープ

チェンマイに行ったら外せない大本山です。本堂へ306段の階段(参拝料30バーツ)かケーブルカー(参拝料50バーツ)を利用する2通りの行き方があります。山頂にそびえたつパワースポットで、高さ22mの黄金の仏舎利塔は、どの角度からも美しい! 蓮の花と線香を携えて、祈りを捧げながら塔の周りを時計回りに3周回ると願いが叶うそう。展望台からは、城壁と濠で四角に囲まれたチェンマイ市街が一望できます。

チェンマイ

市場&ナイトマーケット

▶チェンマイ市場

チェンマイ門を抜けたらすぐ左

朝早く目覚めたら、きれいに清掃された道を通って地元の人々が集まるチェンマイ市場までお散歩はいかが? 市場の前には托鉢の僧侶がいて、お布施として食物や金銭を捧げ、祈りを受ける地元の人々の日常の姿を見ることが出来ます。



チェンマイ

1~2月頃は、旧市街を取り囲む城壁の周りに運の花も咲いています。チェンマイ市場の正面には、朝食を出す屋台がたくさん。地元の人に混ざって食べてみるのも楽しい!

チェンライ

◀チェンライ・ナイト・バザール

チェンライの中心部で毎夜開催されるナイト・バザールです。ごちんまりしているので、ゆっくりと散策できるのもうれしい。食べ歩きもよし、フードコートで夕食を食べながらステージを見るもよし、ローカルな雰囲気も満喫できます。



掘り出し物もたくさんあるので、見逃さないで!



▲キーホルダー(2個) 100バーツ



▲バークー 280バーツ

▲ポレロカーティガン 250バーツ
山岳民族風の柄がかわいい!

自然や動物たち 一見る、触れる、共存する



▶シンハーパーク

タイを代表するシンハービール会社が運営。広大な敷地は、約12.8平方キロメートル(東京ドームの約270個分)もあります。園内はシャトルバスやレンタサイクルで移動。動物とのふれあい、茶摘み、ジップラインなどでたっぷり遊んだ後は、園内の「Bhu Bhirom Restaurant」でシンハービールを!

チェンライ

▶エレファント・プープ・ペーパー・パーク

タイに多くいるアジア象の体重は2~5トン。毎日、体重の6%に相当する草を食べますが40%ほどしか吸収されないそうです。そんな象の排泄物から紙を製造しています。煮沸、殺菌をしているのでニオイもありません。紙すき体験もできます。

チェンマイ



▲チェンマイ・ナイトサファリ

ナイトサファリといえばシンガポールが有名ですが、チェンマイにもあります! 普段は見ることができない夜の動物たちをトラムに乗って見学。草食動物ゾーンでは、トラム乗車前にえさを買くと、えさやり体験もできます。

チェンマイ

ホワイトタイガーのバスで周遊



▶エント

▲エント 180バーツ

▲メモバッド 120バーツ

ご当地麺を食べる

▶カオソーイ

チェンマイ風カレーラーメン。ココナッツミルクの入ったカレースープが特徴です。



▶カノムチーン・ナムニャオ

トマトの酸味がある豚のスベアリブを煮込んだスープ。そうめんのような細い米麺。



今回紹介した各スポットの場所や詳細についての問い合わせは...
タイ国政府観光庁 福岡事務所

☎092-260-9308

福岡市博多区下川端町2-1
博多リバーインイーストサイト11F



ガイドブックや地図も提供しています

スーパーで手軽に買えるお土産

ミヤンカム

ポメロ味 チューイングキャンディー

ばらまき土産に便利な個包装のグミ。写真のザボン味の他にドリアン、マンゴーなどのフレーバーも。

果物の女王 マンゴスチンのフリーズドライ

ピントー(タイの弁当箱)

3段、4段重ね、ホーロー素材など店舗によっていろいろあります。

Lay'sポテトチップ ミヤンカム味

小さくカットした食材をバイチャブルーという葉にくるんで食べるミヤンカム。ポテトチップスなのにタイ料理のようなフレーバー。

ARCHA ビール

ライオン口あたりですっきり飲みやすい。

グリーンパイオ スーパートリートメント

美容大国タイで人気のヘアトリートメント。手軽に試せるパウチの他にチューブやポンプタイプも。30g 12/バーツ

100 Super Treatment

「のんびり」を楽しむ北部旅

チェンライ&チェンマイ

タイというと、賑やかで活気に満ちているバンコクの印象を持つ人も多いのでは? 日本でも地域によって異なるようにタイも南部と北部とでは雰囲気が変わります。南部に比べて北部は、気候も比較的穏やかで、人も話し方もゆっくり。お店への呼び込みや声掛けなどもほとんどなく、「のんびり」を満喫できます。次の行き先に北部旅はいかがですか?

まずは基礎知識

観光の交通手段は?

移動はバスかタクシー(Grab, Boltなど)、乗り合いバスのソンテウになります。出発前に配車アプリをダウンロードしておけばタクシーが便利に使えますが、タイらしさを楽しむならソンテウにチャレンジ! 赤・黄・青など色によって運行エリアが違います。タイ語の地図を持参するとスムーズです。



▲ソンテウ

初心者は、行きはタクシー(Grab, Boltなど)が安心。帰りは、ソンテウがたくさん停まっているので相乗りして市街まで

やっぱり暑い?

熱帯モンスーン気候のため高温多湿で、乾期(11月~2月)、暑期(3月~5月)、雨季(6月~10月)の3つの季節があります。首都バンコクからは700キロメートル以上北に位置するチェンマイとチェンライ。山岳地帯なので、平野部に比べて過ごしやすい気候です。昼夜の寒暖差が激しいので、1枚上着を持っておくことを推奨します。

チェンマイとチェンライ

チェンライは、ミャンマーやラオスと国境を接するタイ最北の地で、かつて北部を統治したランナー王朝の最初の都があった場所です。そして、チェンマイは、チェンライに隣接し、メンラーイ王(ランナー王朝の初代王)により首都として建設されました。「新しい都」という意味を持ちます。

文化に触れる・体験する

最後は、ステージに上がって踊ります。(希望者のみ)



伝統料理のカントークに舌鼓

◀オールドチェンマイ文化センター

民族舞踊に日本の獅子舞を思わせるパフォーマンスなど、さまざまな見ごたえのあるショーがステージだけでなく会場でも繰り広げられます。チェンマイの郷土料理「カントーク」のディナーもかわり自由で満足度◎。ぎゅつと凝縮された北部の文化に触れることができます。旅の始まりや締めくりに。

▶カームビレッジ

中庭を囲むように立つ建物の中にギャラリーやショップがずらり。伝統工芸品や数々のアートで歴史と現代が融合した空間に思わず時間の流れを忘れてしまいます。3階に上るとチェンマイ3大寺院の1つ「ワット・チェディ・ルアン」を見ることが出来ます。



チェンマイ

◀スクガ・ファーム

自然豊かなファームでは、たわわに実るカカオの実を間近に見たり触ったりできます。オリジナルのチョコレートは、カカオ含有量が35%から100%まで10種類あり食べ比べも楽しい! チョコレートづくりのワークショップもあります。(要事前予約)



▲コーヒー 200g 550バーツ
▲チョコレート 185バーツ

▶ドイチャン・コーヒー

タイを代表するコーヒー店の工場は、標高1500メートルのドイチャン村にあります。厳しい基準の数々の工程をクリアした厳選した豆だけがドイチャン・コーヒーとして販売されます。USDAオーガニック認証を受けているのも納得。



チェンライ

◀クローン・メーカー(メーカー運河)

旧市街のターペー門から車で5分の新名所です。川の両岸に飲食店やお土産のショップが多数あります。夜は川に浮かぶオブジェのライトアップも。



チェンマイ